

周辺に 配慮 施工上の工夫聞く

足羽川ダムの現場見学会を行う

県コンクリート診断
士会第115回研修

福井県コンクリート
診断士会（山川博樹会）の
会員研修会として、

長は24日、第115回

足羽川ダムの現場見学

会を行った。付替県道

11号橋工事の施工状

況、および水海川導水

トンネルを訪ねた。

まず、今立郡池田町

小畑の足羽川ダム建設

現場の監督官詰所で、

事業概要と、今後完成

までの工程などの説明

を受けた。

説明は、国

土交通省近

畿地方整備

局足羽川工

事事務所の

吉田副所長

（技術）と、

西建設専門

官が務め、

分かりやす

く紹介。

見学者一

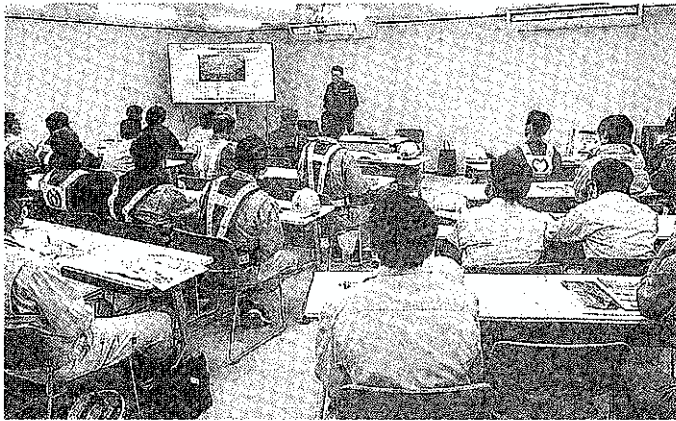
行は、早速

現場に向かい、付替県道7号橋上部工事で、概要の説明を聞き、上部工の見学もした。内容は、ほぼ完成する橋梁上部の施工方法が中心。説明は、極東興和の担当者が当たった。続いて、現場内の水海川導水トンネル2期工事の現場に向かった。概要説明を受け、導水トンネルの下流側入り口を見学。内容は、工事による地下水位の低下や、湧き水、沢の枯渇など、周辺地域に影響を及ぼさないよう。また、トンネル工事自体で区間を分け、排水区間の断面と、非排水区間の断面（こちらが周辺への影響を排除しようとしている区間）に分ける配慮など。施工上、十分に工夫を凝らして進める状況説明を聞いた。トンネル

入り口部分も、遠望から見学。安藤ハザマの担当者による説明を熱心に聞いている。最後に、小畑監督官詰所に戻り、士会の江波副会長が挨拶した。県コンクリート診断士会では、今回の見学を第一弾に、今後も継続して、同ダムの現場見学を行いたい考え。洪水調節専用の流水型ダムとして、工事が今後本格化。完成までの過程を、見学することを通し、会員の知見をさらに広めたい考え。なお今現場の工事名は「付替県道11号橋工事および水海川導水トンネル2期工事」。発注は、国土交通省近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所。施工は、東亜建設工業・ドービー建設工業JV、および安藤ハザマが担当。



水海川導水トンネルの下流側入口を見学



小畑監督官詰所で概要説明を聞く